

中華北極研究會

CHINA ARCTIC RESEARCH SOCIETY



北極研究會



... 一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

...

...



...

母

...

Introduction

Chapter I: The History of the Book

Chapter II: The Structure of the Book

Chapter III: The Language of the Book

Chapter IV: The Style of the Book

Chapter V: The Content of the Book

Chapter VI: The Influence of the Book

Chapter VII: The Future of the Book

Chapter VIII: The Conclusion

Index

Introduction

Chapter I: The History of the Book

Chapter II: The Structure of the Book

Chapter III: The Language of the Book

Chapter IV: The Style of the Book

Chapter V: The Content of the Book

Chapter VI: The Influence of the Book

Chapter VII: The Future of the Book

Chapter VIII: The Conclusion

Index

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

卷之六

卷之七

卷之八

卷之九

卷之十

卷之十一

卷之十二

卷之十三

卷之十四

卷之十五

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

卷之十六

卷之十七

卷之十八

卷之十九

卷之二十

卷之二十一

卷之二十二

卷之二十三

卷之二十四

卷之二十五

一、
二、
三、

四、
五、

六、

七、

八、

九、

十、

十一、

十二、

十三、

十四、

十五、

十六、

十七、

十八、

十九、

二十、

二十一、

二十二、

二十三、

二十四、

二十五、

二十六、

二十七、

二十八、

中 國 經 濟 學 概 論

第 一 章 經 濟 學 概 論

一、經濟學之定義

經濟學

經濟學之定義，即研究人類行為之科學也。

二、經濟學之範圍

經濟學之範圍，即研究人類行為之科學也。

三、經濟學之重要性

經濟學之重要性，即研究人類行為之科學也。

四、經濟學之發展

經濟學之發展，即研究人類行為之科學也。

五、經濟學之未來

一、第一節 緒言
 二、第二節 研究之目的
 三、第三節 研究之範圍
 四、第四節 研究之方法
 五、第五節 研究之結果
 六、第六節 結論
 七、第七節 參考文獻
 八、第八節 附錄
 九、第九節 圖表
 十、第十節 索引

一、第一節 緒言
 二、第二節 研究之目的
 三、第三節 研究之範圍
 四、第四節 研究之方法
 五、第五節 研究之結果
 六、第六節 結論
 七、第七節 參考文獻
 八、第八節 附錄
 九、第九節 圖表
 十、第十節 索引



一、第一節 緒言
 二、第二節 研究之目的
 三、第三節 研究之範圍
 四、第四節 研究之方法
 五、第五節 研究之結果
 六、第六節 結論
 七、第七節 參考文獻
 八、第八節 附錄
 九、第九節 圖表
 十、第十節 索引

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、... 十一、... 十二、... 十三、... 十四、... 十五、... 十六、... 十七、... 十八、... 十九、... 二十、... 二十一、... 二十二、... 二十三、... 二十四、... 二十五、... 二十六、... 二十七、... 二十八、... 二十九、... 三十、... 三十一、... 三十二、... 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、... 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、... 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、... 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、... 四十九、... 五十、... 五十一、... 五十二、... 五十三、... 五十四、... 五十五、... 五十六、... 五十七、... 五十八、... 五十九、... 六十、... 六十一、... 六十二、... 六十三、... 六十四、... 六十五、... 六十六、... 六十七、... 六十八、... 六十九、... 七十、... 七十一、... 七十二、... 七十三、... 七十四、... 七十五、... 七十六、... 七十七、... 七十八、... 七十九、... 八十、... 八十一、... 八十二、... 八十三、... 八十四、... 八十五、... 八十六、... 八十七、... 八十八、... 八十九、... 九十、... 九十一、... 九十二、... 九十三、... 九十四、... 九十五、... 九十六、... 九十七、... 九十八、... 九十九、... 一百、...

卷之二

...

...

...

卷之二

...

...

...

...

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

一、

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...



一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

一、

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

卷之四

一

二

三

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

一、

二、

三、

四、

五、

六、

卷之六

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、



十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、

三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、

一、凡屬國家大事，皆由皇帝親裁，不得假借他人之手。

二、官員之任職，須經吏部考選，不得私自授受。

三、刑罰之執行，須依律例，不得隨意輕重。

四、軍國機密，不可洩露，違者嚴懲不貸。

五、官員之俸祿，由戶部撥發，不得私自侵吞。

六、地方官之考察，由吏部定期舉行，不得敷衍塞責。

七、刑部之審判，須詳盡無遺，不得草率從事。

八、兵部之調遣，須依軍令，不得擅自行動。

九、工部之營造，須依規矩，不得隨意變更。

十、禮部之祭祀，須依古制，不得隨意廢弛。

十一、刑部之獄囚，須依法監禁，不得虐待殘酷。

十二、兵部之武備，須常備不懈，不得疏於訓練。

十三、工部之工程，須堅固耐用，不得偷工減料。

十四、禮部之儀制，須莊嚴肅穆，不得輕視怠慢。

十五、刑部之刑罰，須公正無私，不得偏袒徇情。

十六、兵部之軍餉，須充足無缺，不得克扣侵吞。

十七、工部之物料，須精選優等，不得以次充好。

十八、禮部之禮儀，須合乎節度，不得過度奢靡。

十九、刑部之獄案，須早日結案，不得久拖不決。

二十、兵部之邊防，須嚴加防守，不得有絲毫懈怠。

二十一、工部之建築，須美觀大方，不得粗制濫造。

二十二、禮部之教育，須注重德行，不得只重文辭。

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...

...

...
...
...
...
...

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也



此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

此乃... 之... 也

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書

欽定四庫全書



欽定四庫全書

卷之三
三

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

十一、

十二、

十三、

十四、

十五、

十六、

十七、

十八、

十九、

二十、

二十一、

二十二、

二十三、

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

十一、

十二、

十三、

臣等謹將該部所請開列各款恭摺具奏伏乞
聖鑒訓示謹奏

臣等謹將該部所請開列各款恭摺具奏伏乞
聖鑒訓示謹奏

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

卷之三

一、論... 二、論... 三、論...

四、論... 五、論... 六、論...

七、論... 八、論... 九、論... 十、論...

一、關於本報之組織：本報之組織，係由本報之編輯部、採訪部、印刷部、發行部、經理部、會計部、庶務部、及總務部等八部所組成。其組織之詳細情形，可參閱本報之組織圖。

二、關於本報之業務：本報之業務，係由本報之編輯部、採訪部、印刷部、發行部、經理部、會計部、庶務部、及總務部等八部所負責。其業務之詳細情形，可參閱本報之業務說明書。

三、關於本報之經費：本報之經費，係由本報之經理部、會計部、庶務部、及總務部等四部所負責。其經費之詳細情形，可參閱本報之經費說明書。

四、關於本報之法律：本報之法律，係由本報之經理部、會計部、庶務部、及總務部等四部所負責。其法律之詳細情形，可參閱本報之法律說明書。

一、關於本報之法律：本報之法律，係由本報之經理部、會計部、庶務部、及總務部等四部所負責。其法律之詳細情形，可參閱本報之法律說明書。

二、關於本報之經費：本報之經費，係由本報之經理部、會計部、庶務部、及總務部等四部所負責。其經費之詳細情形，可參閱本報之經費說明書。

三、關於本報之業務：本報之業務，係由本報之編輯部、採訪部、印刷部、發行部、經理部、會計部、庶務部、及總務部等八部所負責。其業務之詳細情形，可參閱本報之業務說明書。

四、關於本報之組織：本報之組織，係由本報之編輯部、採訪部、印刷部、發行部、經理部、會計部、庶務部、及總務部等八部所組成。其組織之詳細情形，可參閱本報之組織圖。

神學·聖潔

「神聖」與「聖潔」是兩個不同的概念。神聖是指神的屬性，是神本身所具有的，是神與受造物的區別。聖潔是指人的行為，是人對神的敬拜，是人對神的順服。聖潔是神聖的表現，是神聖的果效。聖潔是神聖的基礎，是神聖的動力。聖潔是神聖的見證，是神聖的榮耀。聖潔是神聖的冠冕，是神聖的永恆。

聖潔是神聖的表現，是神聖的果效。聖潔是神聖的基礎，是神聖的動力。聖潔是神聖的見證，是神聖的榮耀。聖潔是神聖的冠冕，是神聖的永恆。

神學·聖潔

「神聖」與「聖潔」是兩個不同的概念。神聖是指神的屬性，是神本身所具有的，是神與受造物的區別。聖潔是指人的行為，是人對神的敬拜，是人對神的順服。聖潔是神聖的表現，是神聖的果效。聖潔是神聖的基礎，是神聖的動力。聖潔是神聖的見證，是神聖的榮耀。聖潔是神聖的冠冕，是神聖的永恆。

... 之 故 也 夫 德 之 有 於 民 猶 水 之 有 於 木 也 木 無 水 則 枯 德 無 民 則 廢 故 聖 王 之 治 國 必 先 務 德 德 有 則 民 歸 民 歸 則 國 治 國 治 則 天下 歸 之 矣 夫 德 之 有 於 民 猶 水 之 有 於 木 也 木 無 水 則 枯 德 無 民 則 廢 故 聖 王 之 治 國 必 先 務 德 德 有 則 民 歸 民 歸 則 國 治 國 治 則 天下 歸 之 矣

... 之 故 也 夫 德 之 有 於 民 猶 水 之 有 於 木 也 木 無 水 則 枯 德 無 民 則 廢 故 聖 王 之 治 國 必 先 務 德 德 有 則 民 歸 民 歸 則 國 治 國 治 則 天下 歸 之 矣 夫 德 之 有 於 民 猶 水 之 有 於 木 也 木 無 水 則 枯 德 無 民 則 廢 故 聖 王 之 治 國 必 先 務 德 德 有 則 民 歸 民 歸 則 國 治 國 治 則 天下 歸 之 矣

... 之 故 也 夫 德 之 有 於 民 猶 水 之 有 於 木 也 木 無 水 則 枯 德 無 民 則 廢 故 聖 王 之 治 國 必 先 務 德 德 有 則 民 歸 民 歸 則 國 治 國 治 則 天下 歸 之 矣

一、
二、
三、
四、
五、

六、
七、
八、
九、
十、

第十一頁

一、
二、
三、
四、
五、

六、
七、
八、
九、
十、

十一、
十二、
十三、
十四、
十五、

一、
二、
三、
四、
五、

六、
七、
八、
九、
十、

十一、
十二、
十三、
十四、
十五、

十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

... 1. ... 2. ... 3. ... 4. ... 5. ... 6. ... 7. ... 8. ... 9. ... 10. ... 11. ... 12. ... 13. ... 14. ... 15. ... 16. ... 17. ... 18. ... 19. ... 20. ... 21. ... 22. ... 23. ... 24. ... 25. ... 26. ... 27. ... 28. ... 29. ... 30. ... 31. ... 32. ... 33. ... 34. ... 35. ... 36. ... 37. ... 38. ... 39. ... 40. ... 41. ... 42. ... 43. ... 44. ... 45. ... 46. ... 47. ... 48. ... 49. ... 50. ... 51. ... 52. ... 53. ... 54. ... 55. ... 56. ... 57. ... 58. ... 59. ... 60. ... 61. ... 62. ... 63. ... 64. ... 65. ... 66. ... 67. ... 68. ... 69. ... 70. ... 71. ... 72. ... 73. ... 74. ... 75. ... 76. ... 77. ... 78. ... 79. ... 80. ... 81. ... 82. ... 83. ... 84. ... 85. ... 86. ... 87. ... 88. ... 89. ... 90. ... 91. ... 92. ... 93. ... 94. ... 95. ... 96. ... 97. ... 98. ... 99. ... 100. ...

... 101. ... 102. ... 103. ... 104. ... 105. ... 106. ... 107. ... 108. ... 109. ... 110. ... 111. ... 112. ... 113. ... 114. ... 115. ... 116. ... 117. ... 118. ... 119. ... 120. ... 121. ... 122. ... 123. ... 124. ... 125. ... 126. ... 127. ... 128. ... 129. ... 130. ... 131. ... 132. ... 133. ... 134. ... 135. ... 136. ... 137. ... 138. ... 139. ... 140. ... 141. ... 142. ... 143. ... 144. ... 145. ... 146. ... 147. ... 148. ... 149. ... 150. ...

... 151. ... 152. ... 153. ... 154. ... 155. ... 156. ... 157. ... 158. ... 159. ... 160. ... 161. ... 162. ... 163. ... 164. ... 165. ... 166. ... 167. ... 168. ... 169. ... 170. ... 171. ... 172. ... 173. ... 174. ... 175. ... 176. ... 177. ... 178. ... 179. ... 180. ... 181. ... 182. ... 183. ... 184. ... 185. ... 186. ... 187. ... 188. ... 189. ... 190. ... 191. ... 192. ... 193. ... 194. ... 195. ... 196. ... 197. ... 198. ... 199. ... 200. ...

... 201. ... 202. ... 203. ... 204. ... 205. ... 206. ... 207. ... 208. ... 209. ... 210. ... 211. ... 212. ... 213. ... 214. ... 215. ... 216. ... 217. ... 218. ... 219. ... 220. ... 221. ... 222. ... 223. ... 224. ... 225. ... 226. ... 227. ... 228. ... 229. ... 230. ...

曰：此也。故曰：禮者，天之經也，地之義也，民之行也。君子居則觀象於天，而時行，動則觀象於地，而法象，自天祐之，自不可及。

禮記注疏卷之四十一



禮記注疏卷之四十一
禮記注疏卷之四十一
禮記注疏卷之四十一

禮記注疏卷之四十一

禮記注疏卷之四十一
禮記注疏卷之四十一

禮記注疏卷之四十一
禮記注疏卷之四十一

禮記注疏卷之四十一
禮記注疏卷之四十一

禮記注疏卷之四十一
禮記注疏卷之四十一

禮記注疏卷之四十一
禮記注疏卷之四十一

禮記注疏卷之四十一
禮記注疏卷之四十一

禮記注疏卷之四十一
禮記注疏卷之四十一

禮記注疏卷之四十一
禮記注疏卷之四十一

禮記注疏卷之四十一
禮記注疏卷之四十一

... 之 功 德 亦 甚 大 矣 夫 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 功 德 不 立 夫 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 功 德 不 立

夫 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 功 德 不 立 夫 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 功 德 不 立 夫 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 功 德 不 立

德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 功 德 不 立

夫 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 功 德 不 立 夫 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 功 德 不 立 夫 德 者 本 也 財 者 末 也 德 無 則 財 不 聚 財 不 聚 則 功 德 不 立

一、新編國語彙編之編纂，係由教育部之國語彙編委員會，於民國二十八年，在南京，開始編纂，至民國三十一年，始告完成。其編纂之經過，可分編纂方針、編纂體例、編纂經過、編纂結果四點，分述如下：

一、編纂方針

（一）編纂方針：以現代國語為標準，兼收民間語彙，以資語言之豐富。

二、編纂體例

（一）編纂體例：以音序為標準，兼收詞類，以資詞彙之豐富。

三、編纂經過

（一）編纂經過：由教育部之國語彙編委員會，於民國二十八年，在南京，開始編纂，至民國三十一年，始告完成。其編纂之經過，可分編纂方針、編纂體例、編纂經過、編纂結果四點，分述如下：

（二）編纂結果：共收國語彙編，計三編，其編纂結果如下：

（三）編纂結果：共收國語彙編，計三編，其編纂結果如下：

一、（一） 國體。國體者，國家之體統也。其體統之正，則國家之治。其體統之不正，則國家之亂。故國體之正，為國家之第一要義。

二、（二） 國法。國法者，國家之法則也。其法則之正，則國家之治。其法則之不正，則國家之亂。故國法之正，為國家之第二要義。

三、（三） 國政。國政者，國家之政務也。其政務之正，則國家之治。其政務之不正，則國家之亂。故國政之正，為國家之第三要義。

四、（四） 國教。國教者，國家之教義也。其教義之正，則國家之治。其教義之不正，則國家之亂。故國教之正，為國家之第四要義。

五、（五） 國權。國權者，國家之權力也。其權力之正，則國家之治。其權力之不正，則國家之亂。故國權之正，為國家之第五要義。

六、（六） 國利。國利者，國家之利益也。其利益之正，則國家之治。其利益之不正，則國家之亂。故國利之正，為國家之第六要義。

七、（七） 國名。國名者，國家之名號也。其名號之正，則國家之治。其名號之不正，則國家之亂。故國名之正，為國家之第七要義。

八、（八） 國號。國號者，國家之尊號也。其尊號之正，則國家之治。其尊號之不正，則國家之亂。故國號之正，為國家之第八要義。

九、（九） 國章。國章者，國家之徽號也。其徽號之正，則國家之治。其徽號之不正，則國家之亂。故國章之正，為國家之第九要義。

十、（十） 國器。國器者，國家之寶物也。其寶物之正，則國家之治。其寶物之不正，則國家之亂。故國器之正，為國家之第十要義。